

ヨコハマ市民まち普請事業

第一次提案書

注1) 3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。

注2) 3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

注3) 添付資料は位置図、現況写真、活用イメージ図、その他資料、各A4版1ページ、余白15mm以上としてください。

提案グループ名 (25字以内)	+α
現在の主な活動 内容・活動実績	平成29年度より地域のボランティア活動を通して参加者の親睦を深める任意団体としてスタート。 県立こども医療センターへ2500g以下で生まれた赤ちゃんへのベビー服作り、地域で一人暮らしをする障害者の映画『道草』自主上映会&勉強会、子ども達を連れて老人ホームへの訪問演奏会、子育て勉強会等を開催。 また、国や行政による支援ではカバーしきれっていない、地域の送迎、配食、病院内付き添いなど、NPO法人と協働で個別支援を行っている。
提案場所	港南区 港南台 8丁目
提案名 (25字以内)	スマホで繋ぐwithコロナ時代の虹色ステーション
提案する施設 (どのような施設の提案ですか)	地域の情報収集、情報発信ステーション 情報発信スペース・展示スペース・休憩所・トイレ・洗面所・ ウォーターサーバー・災害時収納・いす・机・畳スペース <u>整備費用の概算額：約 500万円</u>
活用イメージ (提案する施設で どのようなことを 行いますか)	◇スマホアプリを使いwithコロナ時代でも活動し続けられる、新しい形の交流拠点「虹色ステーション」を作る。 ◇虹色ステーションでは、オンラインで行える「茶道」「体操」「ヨガ」「バレエ」「ピアノ」「絵画」「子育て勉強会」等、生活を豊かにしてくれる+αを企画発信する。 ◇スマホが上手く使えない人に対しては、使いこなせるようになるまで、個別に指導していく。(スマホは新しい世界に繋がる夢の扉) ◇高齢者の薬の飲み忘れの防止や体調確認にもスマホのビデオ通話機能を使い確認し、対面支援が必要と判断した際には訪問する。 ◇公園の前なので、子ども達も気軽に立ち寄り、水分補給をしながら一休みする場所にもしてほしい。 ◇子ども達への食料配布の場所としても活用したい。 ◇虹色ステーションから自宅まで、車の送迎も定期的に行い、小さなお子さんを持つ方や高齢者が外出しやすい環境を用意したい。
提案の背景（なぜ提案をするのか、地域のニーズや課題、生かしたい地域の魅力等に触れて説明してください）	◇港南台8丁目は50年前に開発された円海山麓の高齢者率が高い分譲地。港南台駅と洋光台駅の間地点にあたるので利便性が低い。一方近年円海山の山に向けての開発が進み、若い世代や子ども達が増えてきた。近隣には特別支援学校や医療施設も開設されたため、障害児を抱えた家庭が移り住むケースも増えている。それぞれの抱える弱みと強みを上手にマッチングすることによって地域課題を解決し、スマホを活用した新しい形の交流から住民の新たな生きがいを創出できるものと考えている。 ◇子ども達のニーズを細かく拾うことのできる場がないので、地域として

	<p>今まで以上に意識して見守り、困り感のある子どもゼロ地域を目指す。</p> <p>◇地域の子ども食堂は月1回ペースでしか開催されていないので、本当に支援の必要な子どもに対して、支援し続けられる拠点にしたい。</p> <p>◇共稼ぎ家庭が増え、子ども達の習い事の幅が減ってきてしまっている。親の送迎がなくても続けられる多彩な習い事が地域で求められている。</p> <p>◇円海山ハイキングコースの入り口に位置する、自然豊かな地域の特性を生かし、円海山を訪れる方々が立ち寄れるスポットとしてもご活用いただきたい。</p>
目指す地域の将来像（提案を実現することで、どのような地域にしたいと考えますか）	<p>◇人が生まれ育つ環境は様々である。虹色ステーションでは、この事実を共通認識として受け止め、利用者、特に未来ある子ども達が分け隔てなく、元気に過ごせる環境を整備していきたい。</p> <p>◇経済的ハンディ、身体的ハンディ、能力的ハンディを超えて住民全員が様々な可能性を見いだせる場にすると共に、様々な人々がいることを実感し、人の気持ちや痛みがわかる住民に成長していったほしい。</p> <p>◇虹色ステーションの発信した企画から輝く未来の扉が開かれ、その道のスペシャリストを目指していく人が育ってほしい。</p> <p>◇赤ちゃんから高齢者までが様々な体験を通して、「港南台に住んで、育って良かった。また将来は港南台へ戻って住みたい。最後まで港南台で暮らしたい。」と笑顔で言いあえる街にしていきたい。</p>
整備時の協働（つくるときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	<p>◇フードバンク、地域ケアプラザ、区社協、近隣自治会、福祉事業所、NPO法人、高齢者施設、老人会、こども会、地域商店、地域の学校等と協働。</p> <p>◇地域の一級建築士、工務店に見積もりをお願いする予定。</p> <p>◇地域住民の寄付も募りたい。</p>
運営時の協働（運営するときに連携する仲間や活用する地域資源注4）に触れて説明してください）	<p>◇当番制でリモートワークの方から大学生、ニート、主婦、福祉事業所、高齢の方まで、幅広い職種、年代のボランティアスタッフを募集する。</p> <p>◇区社協の担当者を中心に、こうなんふれあい助成金やその他民間企業の助成金等を活用し、継続的運営助成を受ける。</p> <p>◇近隣自治会、フードバンク、店舗、事業所、企業、法人にも商品、物品、人材、サービス等の協力を求める。</p> <p>◇賛助会員を随時募集し、運営費を確保する。</p>
その他提案について特にPRしたい点を記入してください。	<p>◇世の中は知らないこと、未経験の物事で溢れています。そんな中に実は自分にピッタリとあった何かが隠されているかもしれません。虹色ステーションでは、いくつになってもそんな可能性の扉を「平等」に開けるよう、様々な企画を発信し続けていきたいと考えています。</p>

注4)「地域資源」とは、次のようなものを想定しています。

- 「ヒト」の例 ・地域のPTAから協力を受けられそう。 ・地域に設計の専門家がいる。
- 「モノ」の例 ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。
- 「カネ」の例 ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 ・バザーなどで資金を集められそう。

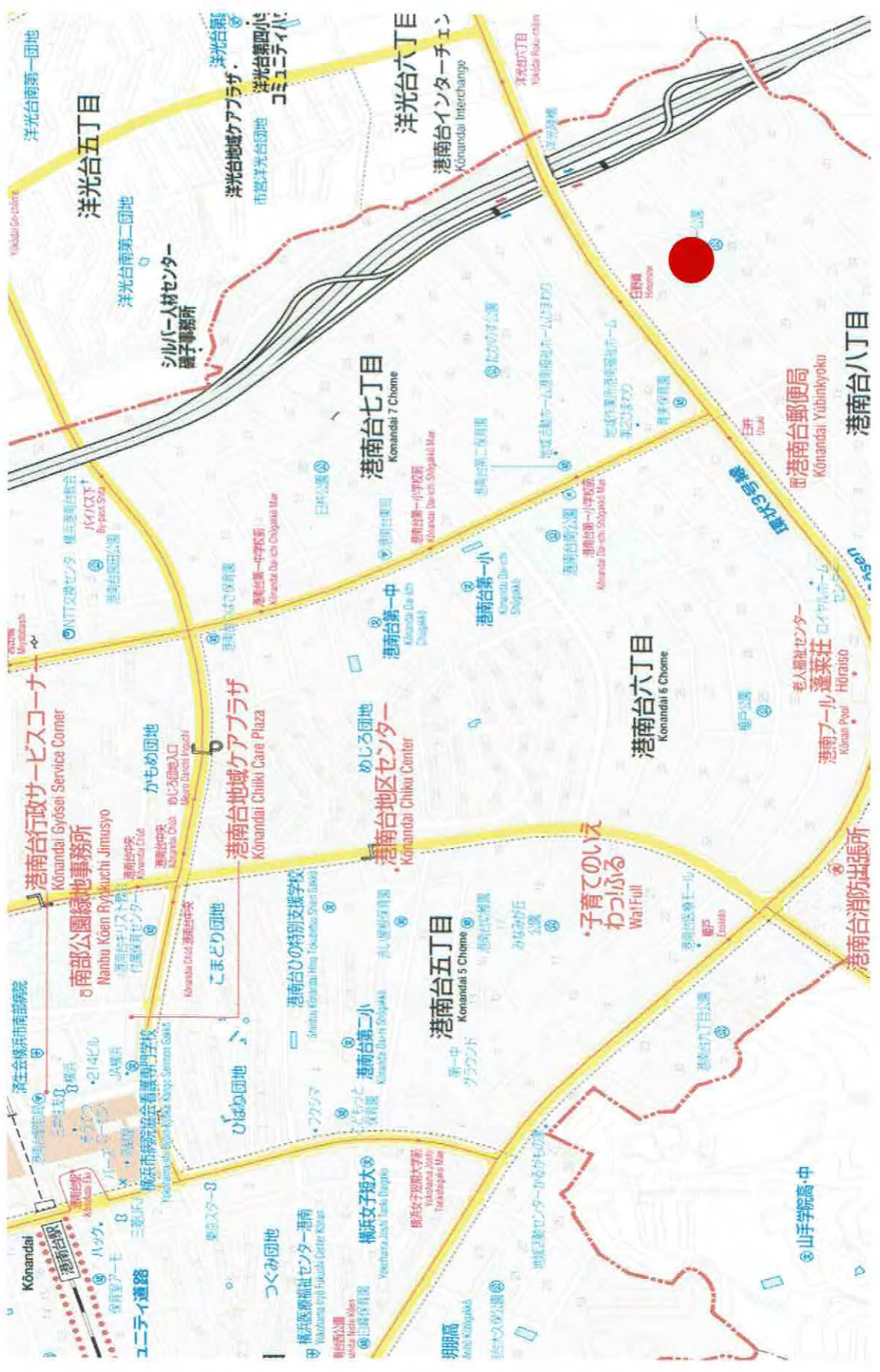
整備場所の地権者等注5）への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況	
説明の相手方	相手方の意見等
地権者	地権者は提案メンバーでもあり、活動に協力してくれている。

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者（会社や行政機関も含む）

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。

位置図



現況写真



活用イメージ図



スマホの使い方教えてください



リモートお茶会
します

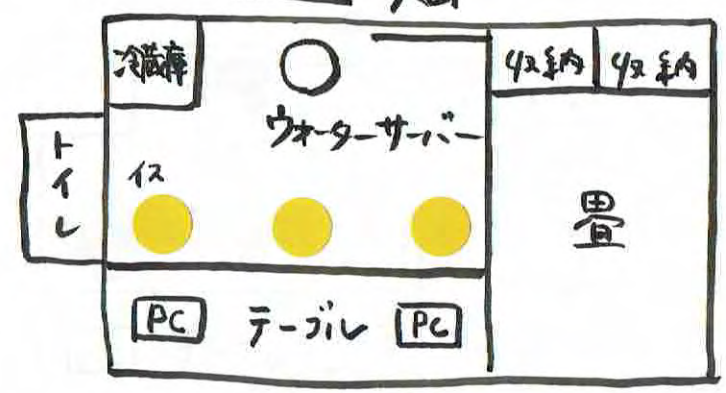


勉強教えてください!!

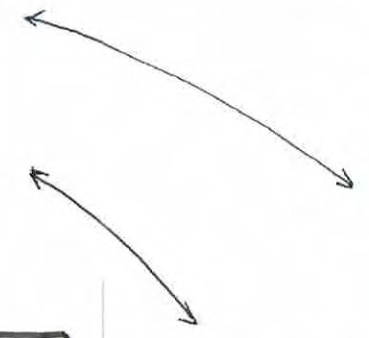


家で参加できる余暇ありますか？

余暇



虹色ステーション



お薬飲みましたか？



今日の調子はどう？



夕食ありますか？



買い物ありますか？

見守り